

## マーケットの動き (2023年11月13日～11月17日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

米国CPI（消費者物価指数）の下振れを背景とした米国金利低下を受け、米国ハイテク株が上昇したことを好感し、日経平均株価は今年最大の上昇幅を記録するなど堅調に推移しました。15日発表の中国経済指標が市場予想を上回り、過度な中国景気懸念が和らいだことも相場の支援材料となりました。

## 投資環境見通し (2023年11月)

## 国内株式相場は堅調に推移

企業業績については、想定為替レートを上回る円安水準が輸出関連企業の利益を押し上げることに加え、国内家計や訪日外国人の増加を背景に堅調なサービス消費が非製造業にとって増益要因になるとみています。国内株式相場は、中東情勢や原油価格の動向に注意を要するとみられますが、内需の底堅さを背景に概ね堅調な企業決算が予想されることに加え、決算発表以降は自社株買い再開による需給の改善や、政府による減税をはじめとした経済対策への期待もあり、調整一巡後は堅調に推移するとみています。

	11月17日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,391.05	2.33%	4.32%	12.07%	21.60%
日経平均株価	33,585.20	3.12%	4.82%	11.60%	20.25%

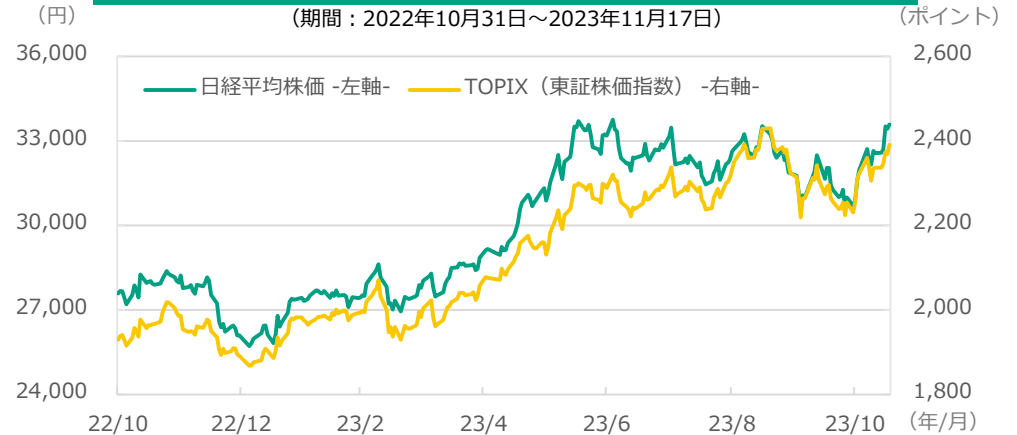
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

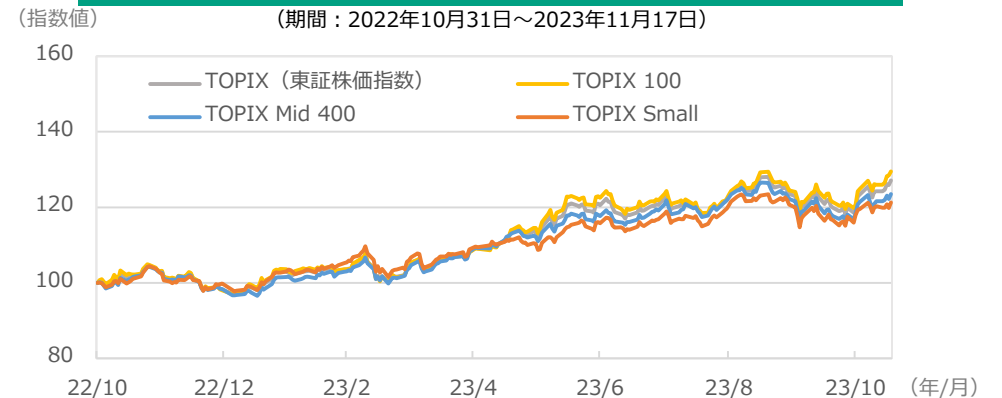
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202311\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202311_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日経平均株価、TOPIXの推移



## TOPIX規模別指数の推移



※2022年10月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成